

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【I・III・V】
2 実施対象者	石岡市立林小学校 1～6年生 137名 教職員20名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (パラリンピック陸上教室)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	パラリンピックメダリストの講話や実技指導を通して、パラリンピック教育を推進し、児童が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック、パラリンピックの意義や歴史についての学習 全学年で2時間実施 ・パラリンピアン（メダリスト）の講演会の開催 全児童と教職員、保護者参加 ・講演会の感想文等の作成 ・講演会に関する学校通信の発行，ホームページへの掲載 ・オリンピック，パラリンピック関連図書の購入と活用 <p>・11月22日（木）石岡市出身のスポーツジャーナリストえばしよしのり氏の講演会「ゆめのかいだんをつくろう」</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックの歴史や意義について，なでしこジャパンの選手について，ゆめを実現するためには一つずつ階段をつくっていくこと など </div> </div>

	<ul style="list-style-type: none"> ・11月28日(水)パラリンピック5大会連続入賞 世界選手権銅メダル走り高跳び 鈴木 徹 選手講演会陸上教室 <p><講話内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドボール選手として国体3位。高校卒業後の春休みに交通事故で右膝下を失う。努力し1年後義足で走れるようになる。 ・2000年シドニー大会以降5大会連続入賞。 ・2017年世界選手権で銅メダルを獲得 ・誰にでも不得意なことはある。諦めるのではなく、何かほかに自分の得意分野を見つけてがんばろう」 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城新聞記事掲載(30年12月5日付け)
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のオリンピック、パラリンピックへの理解と関心が大きく高まった。 ・豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育むきっかけとすることができた。 ・児童の感想 「義足で2mも跳べるのはすごい」「義足の人に会うとちょっと怖いなと感じてしまっていたけど、鈴木選手の話聞いて、困難にも負けず頑張っている姿がすごいなと思った。」
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講話だけでなく、実技指導を実施していただいた。児童がメダリストと一緒に跳んで体感し、パラリンピックへの興味・関心を大きく高めることができた。 ・石岡市陸上記録会、校内持久走記録会、石岡つくばねマラソン大会等への参加とその練習など、年間を通して事業との関連を図った体育的行事を実施した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック、パラリンピックの講師の人は幅広く、また実施校の実態やねらいにそったものであるべきと考える。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度も事業の指定を希望するが、指定を受けなくてもメダリストを招聘するなど同様の教育活動を展開していく。